

環境問題バザール～第二次意見文～

第二次意見文「地球上最も有害なダイオキシン」

今まで、「ダイオキシンは、とても体に悪い物質だ」などと、ニュースや新聞などで取り上げられていたけれど、私はほとんど自分のことのように考えていませんでした。けれども、私たちの周りにもダイオキシンが発生していることが分かりました。

また、ダイオキシンは私たちの体の中の脂肪にたまっていくことが分かりました。私は自分の体にダイオキシンがたまっているなんて信じられませんでした。けれども、体内にたまったダイオキシンを体の外に出す働きがある食べ物があることを知りました。それは食物繊維です。だから、野菜や果物をこれからたくさん食べた方がいいと思います。

環境問題の先進国ドイツでは、ダイオキシン問題は解決済みです。日本もドイツのように、ごみになるものを作らないこと、再利用の徹底をすればいいと思いました。もっと一人一人がダイオキシン問題を自分のことのように考えて、早く日本や世界からダイオキシンがなくなってほしいと願っています。

第二次意見文「家一つにも環境を」

家という身近な物も環境を考えて作っており、それは他の国でも同じだと思った。

例えばノルウェーだ。ノルウェーでは最近ログハウスが90パーセントを占めている。しかし、戦後からは材料として環境によくない断熱材が使用されている。そのため最近では断熱材を使わない住宅の研究が進んでいる。

日本では環境を重視している家が増えているそうだ。例えば冬は太陽の熱をたっぷりと取り入れ逃さないように工夫した家だ。これにより、省エネで環境にとってもよい。

これらのことを知り、私は家一つ作るのにも環境のことをきちんと考えているのだと思った。環境のことを考えての家作りということは、消費者も生産者も環境を大切にしようとしているからこそできることなのだと思う。少し金額がかかっても環境を守ろうとしている。これは、環境を守る小さな一歩であると共に大きな意味をもつ一歩でもあると思う。

第二次意見文「森林保護から見えてくること」

私は森林保護というのはとても大切だと思います。しかし、私たちにはむずかしくできなさそうな感じがします。ゴミを捨てない、ゴミを拾うなど私たちにもできることはたくさんあります。どんな小さなことも森林保護につながっています。

南アメリカのアマゾン流域では森林を燃やしています。これは南アメリカのアマゾン流域の人たちにとって生活には欠かせません。けれども少しずつ燃やす量を減らせばきっと森林もたくさん減らずに済むと思います。

森林が年々減っていくのとともに野生生物も年々減っていつています。森林と野生生物は関係があるのです。森林を守るということは野生生物を守るということにつながるといいます。

森林を守るということは、野生生物を守るほかにも私たち人間を守るということにつながるのではないのでしょうか。

第二次意見文「フロンの考え方は真実か」

私は今まで、オゾンそのものがよく分からなかったため、オゾン層破壊という問題をあまり大きな問題としてとらえていなかった。そして、「オゾン層を破壊してしまう物質がフロンなら、フロンを使わなければいい。」などと、大規模な環境問題を自分の中で勝手に片づけてしまっていた。そんなとき、国語の時間に、「環境問題」をテーマにして学習することになった。そこで私は「オゾン層破壊」について調べてみることにした。

調べていくうちに理解も深まり、それと同時に一つの疑問点が出た。それは、あるアメリカの科学者が「フロンを使い続けると人間にも有害であり、オゾン層に穴が開く」とまで発表していたにもかかわらず、フロンを使い続けていた人間の考えである。人間は、なぜ便利だと思うものの確実な安全性も確認せず、使い続けてしまうのだろうか。私はそこが大きな環境問題を引き起こしてしまう原因なのだと思う。

これからは一人一人がフロンの本当の危険性を理解し、本来の人類にとって大切なオゾン層を守っていくべきだと思う。